生活展に「ご意見伺いますコーナー」

富士見町議会は、町民センターで開かれた今年度の生活展に、町議会のブース「ご意見伺いますコーナー」を開設しました。議員が2人ずつ交代で座り、町民の皆さんから町政への要望や意見を聞きました。ブースには、20代から80代までの幅広い年代の方が計20数人訪れました。

生活展への参加は、議会改革の一環として昨年度から取り組み、今回で2回目です。各議員が出身集落にとらわれず、町民の皆さんと交流する場になれば、と計画しました。

町議会が生活展に出展したブース「ご意見伺います」コーナー

議会改革の一環　町民の皆さんと交流

町民の皆さんからは、「高齢者に優しい町づくりを」「文化財の保護に力を入れて」「高齢者が活躍するためにも交通手段を充実して」「子育て世代にも優しい町に」など、町政全般に関して、さまざまな声が寄せられました。建設工事が進行中の多目的交流広場「ゆめの森（仮称）」公園については、大型遊具の設置に関して賛否が分かれました。富士見パノラマスキー場のリフト券無料を小学4年生以上にも引き上げてほしい、という具体的な要望もありました。

20代女性からは「同世代の人たちが次々と町外へ出てしまうので寂しい」という切実な訴えがありました。若者が住みたい町にするにはどうすればいいのか。議会に課題をいただきました。

3月定例会のお知らせ

町議会3月定例会は、これまでの慣例だと、1日の木曜日に開会し、一般質問は4日、5日の両日、月曜、火曜となる見込みです。3月定例会は平成30年度の一般会計、特別会計、企業会計などの当初予算案を審議する重要な議会です。

住民の皆さんの傍聴をお待ちしています。なお、日程が変わる可能性もあります。

【編集後記】

大型遊具が大きな焦点に

12月議会は、多目的交流広場「ゆめの森公園」（仮称）の大型遊具などの工事費4000万円を含む補正予算を認めるかが大きな焦点となりました。議員それぞれの思いは違っても、結果的には、全会一致で可決されました。この夏には素晴らしい公園が完成し、多くの人たちの笑顔と歓声があふれ、町の象徴になると確信しています。この冬はラニーニャ現象により、寒さの厳しい冬となるかも知れません。しかし、春の足音は決して遠くありません。

（議会広報編集委員　五味高幸）

議会傍聴者の感想

□質疑応答が分かりやすい

女性団体連絡協議会の1年間の事業に議会傍聴があり、良い機会と思い、傍聴しました。議場の入り口で住所と名前を記入して傍聴席につきました。既に、町側、議員さんは着席していて緊張した雰囲気でした。質疑応答は分かりやすく、紙面で見るよりも経過が分かるので、納得が得られました。新しい町づくりを期待しています。

（富士見町商工会女性部　部長）

□縦のつながり、横の連携プレーを

都会になくて田舎にあるものは自然。星は町全体を包むプラネタリウム。縦のつながり、横の連携プレーを活かし、活性化する町になることを望みます。町のようすを垣間見、共有することの大切さを感じました。これもコンパクトな町ならではの傍聴でした。

（富士見町商工会女性部　副部長）

＜富士見町議会へご意見をお寄せください＞

【No.152】　平成30年2月1日発行　　発行：富士見町議会／編集：議会広報編集委員会
委員長：川合 弘人／副委員長：矢島　尚／委　員：小池　勇　五味 高幸
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777
TEL：0266-62-9403　FAX：0266-62-9320　E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp